江別工業団地だより

ついしかり

令和4年10月27日 vol.157

■発行／江別工業団地協同組合　江別市工栄町15の1　電話384-3262■発行責任者／理事長 杉野邦彦■印刷／笹岡印刷株式会社

＊広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」（現在の工業団地周辺）の地名からとったものです。

夕張滝の上公園　千鳥ヶ滝

写真提供：本江　一貴さん

目　次

○ 表紙　夕張滝の上公園　千鳥ヶ滝 …… 1
○ 組合員企業紹介 江別製粉株式会社 …… 2～3
○ 交通安全運動 旗の波街頭啓発 …… 4
○ 第2回親睦ゴルフ大会開催 …… 5
○ 普通救命講習Ⅰ開催 …… 5
○ 山登り同好会レポート …… 6～7
○ ㈱菊水 第10回地域食品産業貢献賞受賞 …… 8
○ いずみ野小学校校長来所 …… 8
○ 工業団地産直朝市中止のお知らせ …… 8
○ わが郷土の歴史　その46 …… 9
○ 献血活動募集 …… 10
○ 新型コロナワクチン4回目職域接種開始 …… 10
○ お詫びと訂正 …… 10
○ 組合予定行事 …… 10

組合員企業紹介

2022 年 11 月、工栄町 6 番地に大きな倉庫が完成する江別製粉株式会社様をご紹介します

工場内、小麦を砕く「ロール機」

本社外観

小麦追跡学習ではハルユタカの畑を見学

業務用「100%HOKKAIDO」シリーズ

会社紹介

江別から全国に向けて小麦粉を製造販売する、江別製粉株式会社。パン屋さん、麺屋さん、お菓子屋さん、そしてご家庭での利用など、様々な用途で使われる小麦粉ですが、同社では主に業務用の小麦粉を製造しています。小麦粉の原料である小麦は外国産がほとんどで、国産比率は 15% 程度と低いものの、そのうち北海道は 60% 程度を占める一大産地。江別製粉では、北海道産の小麦を多く取り扱っています。

江別で有名な小麦「ハルユタカ」もそのひとつ。同社は、小麦畑が近くにあったことをきっかけに国産小麦を再評価。外国産小麦と混ぜて使うことが常識の国産小麦を見直し、1990 年に北海道産小麦 100%でつくった小麦粉製品シリーズを発売、全国に販路を広げました。船で運ばれてくる外国産小麦を効率的に製粉できるよう臨海地域に立地する製粉会社が多い中、小麦産地・江別にある会社の特長を生かし、積極的に北海道産小麦の魅力を発信しています。

市内では、小麦関係者とともに様々な取り組みを実施。2002 年には、江別の小麦を使用した「江別小麦めん」（株式会社菊水）が誕生しました。2004 年には、江別の小麦が畑から麺になるまでを学ぶ「小麦追跡学習」が始まり、毎年小学生に地元江別の産業を伝えています。

創立 70 周年を迎えた 2018 年には、長年の北海道産小麦の製粉ノウハウを駆使して作った業務用の小麦粉「100%HOKKAIDO」（各 20kg）をシリーズ展開。2021 年には同シリーズを家庭用にアレンジ（500g/450g）して発売し、市内の店舗でも販売しています。

江別工業団地に製品倉庫を建設

江別製粉の小麦粉製品は、用途別・産地別・お客様専用粉など多くの要望に応えた結果、約300種類。小麦粉の他にも、ライ麦粉・ミックス粉、2022年4月からはとうもろこしを粉砕してつくるコーングリッツも販売しています（コーングリッツ製造は子会社の株式会社N-GRITS（栗山町））。江別工業団地に建設中の製品倉庫は、こうした製品を保管、全国に出荷する拠点として使用されます。敷地面積は約13,520㎡、サッカーコート1面分ほどの広さに、25kgの業務用袋で換算して約14万袋保管することが可能です。江別製粉は、製品倉庫を稼働することで保管能力を約1.4倍に上げ、円滑な物流体制構築を目指しています。

■製品倉庫概要

所在地　江別市工栄町6-1
構造規模　鉄骨造1階建て
敷地面積　約13,520㎡
延床面積　約7,251㎡
着手　2022年4月
竣工　2022年11月

江別工業団地の皆様へ

2022年11月に、製品（小麦粉）倉庫が完成します。倉庫収容能力が不足していた弊社では、札幌市内の営業倉庫を含めて、保管場所が複数に分散しており、非効率な業務の改善が急務でした。今回ご縁がありまして、工業団地内に倉庫を建設することができました。新倉庫の完成により、冬期間を含め、天候に影響されずにスムーズな入出庫が可能となり、お客様への確実な製品の供給、トラックの待機時間の縮減、倉庫担当者の残業解消などが実現します。この倉庫から、江別産ハルユタカの小麦粉も含めて、全国に出荷されていきます。完成後は、作業の安全に務め、近隣企業の皆様にご迷惑のかからないように運用して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役　安孫子俊之

会社概要

社名　江別製粉株式会社（Ebetsu Flour Milling Co., Ltd.）
事業内容　小麦粉（約300種類）・ライ麦粉・ミックス粉・飼料の製造、販売
設立　1948年5月27日
従業員数　64名（2022年3月現在）

旗の波街頭啓発　▶2022.7.13　江別工業団地協同組合

7月13日（火）夏の交通安全運動に合わせ「旗の波街頭啓発」を実施しました。

参加者は30企業76名。所管委員会であります、安全衛生委員会　里深委員長より挨拶の後、江別警察署地域交通官警視　小山様、江別地区交通安全協会　会長　高間様にご挨拶をいただきました。

次に、安全衛生委員会　芦崎委員より交通安全宣言を行い、引き続き、安全衛生委員会　菅原委員による飲酒運転根絶宣言を行い、5丁目通りを参加者全員で交通安全旗を手に、道行くドライバーへスピードダウンとシートベルト着用の啓発活動を行いました。

11年前（平成23年）に江別市上江別のT字路交差点で女性が亡くなる、とても悲しい飲酒ひき逃げ事件がありました。それから4年後の平成27年（2015年）12月1日「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が施行され6年が経過しておりますが、今なお飲酒運転による逮捕事案が発生しております。

7月12日現在、道内の交通事故発生状況ですが、人身事故発生件数は4,307件（前年比+196件）、交通事故者数は50人（前年比－6人）、ケガをされた方が5,043人（前年比+269人）。江別警察署管内の人身事故は73件（前年比－10件）、交通事故者数は4人（前年比+3人）、ケガをされた方が85人（前年比－11人）と、人身事故の件数は減ってはいますが、死亡事故の件数は増加傾向で厳しい状況が続いています。事故の特徴は自転車や、歩行者が巻き込まれる交差点での事故が一番多くなっています。また、事故が発生しても「大丈夫」だと警察には届け出をしないで、お亡くなりになっているケースもあります。いつ加害者になるか被害者になるかわかりません。是非ハンドルを握る際は緊張感を持って安全運転を心がけて頂きたいと思います。大きな事故に繋がらないよう日頃から注意をしましょう。

夏の交通安全参加企業（30企業）

㈱イチムラ	㈱ホクエイ（旧：㈱日江金属）
江別ビル管理㈱	八光砂利㈱
江別リサイクル事業協同組合	㈱樋　口
オシキリ食品㈱	パピルス化成㈱
㈱菊　水	パラマウント硝子工業㈱
グロース・テクノ工業㈲	北海道王子製袋㈱
江和自工㈱	㈱北海道スクリーン製作所
札幌機工整備㈱	北海道中央食糧㈱
㈱札幌第一金属	北海道トナミ運輸㈱
㈱ＪＳＰ	㈱北海道酪農公社
㈱ジェーピー北海	㈱北海物流サービス
㈱システック	前田道路㈱
匠プレス工業㈱	㈱丸正久保総業
電制コムテック㈱	㈱マルナカ
道央衛生㈱	安田建設㈱

親睦ゴルフ大会　▶2022.9.6　札幌国際CC

第2回親睦ゴルフ大会開催！

令和4年度・第2回親睦ゴルフ大会は、9月6日（火）札幌国際CC島松コースで開催いたしました。参加者は13名。この日の天気情報は降水確率0%でしたが、台風11号の影響で早朝から曇り霧雨。午前中は霧雨が降ったり止んだりの天候が、午後からは風と霧雨が激しくなっていました。開催も危ぶまれる天候のなか皆さんレインウエア着用で準備OK！パターの状況確認OK！雨にも負けず皆さんの豪快なショットと快音が鳴りわたり4組13名がスタートです。私も皆さんのフォームを撮るのに必死でしたが残念ながら雨できれいに撮れませんでした、申し訳ございません。

優勝は、昭和窯業㈱　西村卓朗さん、Aコース40・Bコース42：GROSS 82：HDCP 10.8：NET71.2でした。準優勝は、8年ぶりに参加されたオシキリ食品㈱　窪田康宏さん、3位は前回優勝された㈱北海道ロジ　吉田拓哉さんでした。

その他の賞に入った方々は次のとおりです。

ベスグロ賞：西村さん、ドラコン賞（2ヶ所）：窪田さんA-6番、西村さんB-8番。ニアピン賞（4ヵ所）：吉田番一さんA-8番（A-5番該当者なし）、西川さんB-2番、青山さんB-7番でした。また、組合員の昭和窯業㈱様より協賛いただいた商品は、協賛賞として本間さんと重信さんにお渡しいたしました。協賛ありがとうございます。

皆様の素敵なフォームは組合映像ブログよりご確認ください。来年も組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

優勝 西村さん

準優勝 窪田さん

普通救命講習Ⅰ　▶2022.9.13　江別工業団地協同組合

「普通救命講習Ⅰ」を9月13日（火）に新型コロナウイルス感染拡大防止対策として人数制限を設け工業会館1Fホールで開催されました。組合員9企業20名が参加し講義と実技を受けられました。今回の講師は、江別市消防署応急手当指導員　西澤賢治氏と応急手当普及員　齋藤美穂氏です。

実技演習では10名ずつの2グループに分かれて1人1人がAEDの操作を実際に体験していました。119番通報と協力者へAEDを持ってくるよう依頼する動作の際「周りに誰もいない場合はどうすればいいですか？」と質問が出るなど参加者の救命に関する意識の高さを感じました。（周りに誰もいない場合は心肺蘇生の前に自分で119番通報、AEDの手配を行います）

3時間の講習終了後は消防署より修了証が交付されました。参加者の皆様お疲れ様でした。

ご指導頂いた西澤氏（右）と齋藤氏

令和4年 山登り同好会 Report 2

5月・6月と第2回までを順調に終えた山登りですが、コロナ感染者の増加がみられた8月はお休みし、最後の10月も天候不良のためお休みとなってしまいました。今年は、全部で4回の登山となり、報告のしていない第3回、第4回の様子をお知らせします。

記録者／事務局　村田京華

第3回山登り　7月10日（日）
雨竜沼湿原 …… 参加者 12名

第3回山登りは、「1年に一度バスに乗って遠出をする！」という回です。今回は、雨竜沼湿原へ行ってきました。「雨竜沼湿原」と初めて耳にする方は、平坦な土地に綺麗な湿原をイメージするかもしれませんが、違うんです！標高850mの山の上にあるんです！と、いうわけで、湿原に着くまでに2時間ほど山登りをします。

当日は、朝から雨が降っていて、登山口に着くまでに晴れることを祈りましたが、雨は止まず、カッパを着込み山登り開始です。足元がすべる中2時間歩き続け・・やっと湿原にたどり着きました！到着するころには雨も止み、青空がチラホラ覗いていて嬉しかった。何より、湿原がお花畑になっていたことに感動。

東西4km、南北2kmに広がる雨竜沼湿原は、日本有数の山岳型高層湿原帯で、大小100以上の池塘（ちとう）と呼ばれる沼が点在し、夏は多くの高山植物が咲きますが、この日は特別多くのお花が咲いていたようです。（1週間前に登った時は半分だったそうです）

湿原内を周遊できる木道（約4km）をゆっくり回ると1時間と少し。途中にはテラスもあり、しばし鑑賞（休憩）もできます。

滅多に咲かないという「コバイケイソウ」「ウリュウコウホネ」、満開の「エゾカンゾウ」、可愛い「ワタスゲ」「チングルマ」「シナノキンバイ」、艶やかな「ヒオウギアヤメ」「ハクサンチドリ」その他にも沢山咲いていて、とっても綺麗でした。

最近、ひそかなトレッキングのスポットとして注目を浴びているようですが、トレッキングではありません！登り2時間、散策1時間、下山1時間半の正式な登山です。ちなみに11キロ位歩きます。

興味のある方！覚悟して登ってください！疲れた分感動しますよ～！

第4回山登り　9月11日（日）
浦臼山（718.2m）…… 参加者 15名

第4回山登りは、浦臼山へ行きました。石狩川と当別川に挟まれた山地に、標高1,000m前後の山（浦臼山、樺戸山、隈根尻山、ピンネシリ、神居尻山）が連なる樺戸連山の一つです。

山頂までの登山道は車道跡を歩いていきます。20年くらい前はハングライダーの飛び出し台が浦臼山頂の奥にあり、車が走る事もあったそうです。なので、割と歩きやすい登山道で、ちゃんと、飛び出し台も残っていました。

また、中間地点に反射板があり、ここも昔は良い展望台だったそうですが、現在は草が生い茂り、使用できなくなっていました。残念です。

反射板を過ぎると登山道は斜度を増し、小さなアップダウンを繰り返し、「ここが頂上だよね？」と4回ほど勘違いし、やっと山頂に着きます。

お天気に恵まれたお陰で、山頂からは素晴らしい山々を見ることができました。また、山頂から登山道はさらに奥に延びていて、「樺戸山」や「隈根尻山」へと繋がっています。今日は、浦臼山だけだったけど、次はもっと先まで行ってみたいな～！なんていう気分にしてくれた快適登山でした。

登っている途中でみつけた「山ぶどう」、後日、見事なジャムに変身です。作っていただいた後藤さん、ありがとう!!

㈱菊水 第10回 地域食品産業貢献賞受賞

令和4年9月15日（木）東京・第一ホテル新橋にて開催された、日本食糧新聞社制定「第10回地域食品産業貢献賞」贈呈式において、当組合の㈱菊水様（代表取締役　杉野邦彦・当組合理事長）が、ロングセラーやヒット商品開発で道内生麺業界をけん引する企業として認められ受賞されました。

この受賞は、国内の各地域で優れた商品を生産・提供する企業をはじめ、さまざまな地域密着型の活動（地域社会貢献活動および食育活動など）を推進する企業を顕彰するものです。受賞おめでとうございます。

いずみ野小学校早川校長先生来所

8月17日いずみ野小学校 校長 早川久夫 先生が来所されました。

7月発行の広報誌で紹介いたしましたが、自転車に乗る子供たちが着用するヘルメットを購入することを目的として、江別工業団地協同組合より江別交通安全協会様へ寄付を贈らせていただき、そのお礼のご挨拶にいらっしゃいました。ヘルメットを受け取った子供たちは大変喜んでいたそうです。

このプロジェクトは、江別市内に「自転車用ヘルメット着用モデル地区」を設け、ヘルメット着用の重要性や自転車の正しい乗り方を指導し、子供の交通事故抑制に繋がる環境を作ることを活動の方針としています。

9月4日 産直朝市 中止

6月より産直朝市開催に向け準備をしてまいりましたが、8月29日の時点でコロナ感染者数が減少傾向に向かっていない為、中止といたしました。開催を楽しみにしてくださった皆様には、急なご案内となりご迷惑をおかけいたします。何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。来年こそは開催できるようコロナが落ち着いていることを願うばかりです。

わが郷土の歴史　その46

旧岡田倉庫の移設
江別市かわまちづくり

（江別の歴史を伝える集い会員・一般財団法人北海道文化財保護協会理事）石垣　秀人

来年度、移設が計画されている旧岡田倉庫

江別市は、札幌開発建設部が進める石狩川・千歳川の堤防整備に伴い、条丁目地区の千歳川沿いに位置する市指定文化財・旧岡田倉庫を近接地に移築することにした。

江別市が策定した「江別市かわまちづくり計画」に基づくもの。国土交通省では水辺を活かして地域の賑わいを目指す取組「かわまちづくり」を推進するため支援制度を設けている。国からの支援には計画の登録が必要で、登録を受けるとソフト・ハード両面の支援を受けることが可能となる。市が策定した「江別市かわまちづくり計画」（石狩川水系千歳川）が、国土交通省の支援制度に2022（令和4）年8月9日付けで登録された。北海道内のかわまちづくり登録数は、国管理河川12カ所、北海道管理河川9カ所（8/9現在）

市は「えべつ未来づくりビジョン」に基づき、地域資源を活かし江別観光の魅力を高めるとともに、商店街の活性化や観光による産業の振興等を推進している。条丁目地区のまちづくりの一つとして同制度を活用するとして市の各種計画とも整合性を持たせながら計画づくりに取り組んだ。

石狩川・千歳川の堤防整備では2017（平成29）年7月11日付け江別市市街地自治会連合協議会（5町内会）から江別市長に「条丁目地区の活性化」、「街づくり・街おこし」の絶好の機会として捉え、明治・大正・昭和と続く「舟運の町-江別-」を支えた歴史的建造物（旧岡田倉庫）の移設や他の施設含め「古き良き昭和の江別メモリアルゾーン」として再整備など要望していた。

2020（令和2）年11月、学識経験者、経済・まちづくり団体・市民公募など8人で構成する江別市かわまちづくり協議会（小篠隆生会長・北海道大学大学院工学研究院准教授）を開催、協議を積み重ねてきた。協議会は旧岡田倉庫の利活用方法を主に千歳川河川敷の活用ほか、条丁目地区そして対岸の大川通地区を含めたまちづくりをどのようにしていくか、地元からの要望等も踏まえ議論してきた。協議の過程では文化財保護等の関係者や江別河川事務所からかわづくりに関する助言を受けるなど進めたとのこと。また条丁目地区を元気にしたいと協議会のワーキンググループとして「かわまちづくり勉強会」を組織し、協議会結果の市民周知や地元からの幅広い声の収集など市民参加型で意見交換しながら計画づくりに参画している。

筒井産業倉庫は2021（令和3）年11月に取り壊した。

舟運伝える歴史的建物

1897（明治30）年建築の旧岡田倉庫（江別市2条1丁目）は、江別市における舟運の時代を反映する木骨石造の商業倉庫。鉄道と舟運の結節点、交通の要衝であった往時の江別市街地（江別港）の歴史を物語る数少ない重要建築物である。延床面積233平方㍍。計画によれば倉庫の移設は来年度に解体、移築の予定である。倉庫は地元有志等による「旧岡田倉庫活用民間運営協議会」が、建物改修した平成17年7月から「アートスペース外輪船」として演劇公演、美術展、音楽会等の文化活動に活用していた。2022（令和4）年9月30日、外輪船は閉館、同運営協議会も解散した。

堤防整備計画地内の旧岡田倉庫に隣接した2棟の煉瓦倉庫、旧大久保倉庫（2020年4月撤去）と筒井産業倉庫（2021年11月撤去）の跡地は、現在更地となっている。

堤防整備（千歳川合流点付近）

千歳川の治水対策は「石狩川水系千歳川河川整備計画」（平成27年3月改定）に基づき、“堤防の整備”“河道掘削”“遊水地の整備”の3つを基本として河川整備を行っている。令和2年度から供用開始した上流部の遊水地群（6か所、市内では江別太遊水地）も対策の一つである。

石狩川と千歳川の合流点は背後に市街地、国道12号、JR函館本線、工場施設等が近接しており、現在の堤防は特殊堤で整備が行われているが、50年近く経過しており老朽化が見られるとのこと。1981（昭和56）年8月洪水の際には漏水が発生したため水防活動が行われた。

今回の堤防整備は国道12号から上流側のJR線までの千歳川沿い約500㍍区間の堤防拡幅を計画、最大30㍍の土堤を整備するとしている。

［参考：江別市「江別市かわまちづくり計画」（令和4年6月）、札幌開発建設部ホームページ（江別河川事務所、千歳川河川事務所等）］

工業団地協同組合 お知らせ・イベント予告です

献血活動募集！

日時 令和4年11月15日（火）
午前8時30分より

場所 江別市工栄町15番地の1
江別工業会館駐車場

昨年の様子

11月15日（火）8時30分より献血を行います。

昨年同様、工業会館駐車場に日本赤十字社の献血バスを設置し、参加された皆さんには400ml献血のご協力をお願いしております。

当日、来られた方全員に（採血の有無に関係なく）粗品をご用意しておりますので、沢山のご参加をお待ちしております。ご協力よろしくお願いいたします。

新型コロナワクチン 4回目職域接種開始

4回目職域接種は、11月28日から12月8日までの10日間（毎週月曜日から土曜日）で実施いたします。

今回も、江別工業団地協同組合・江別商工会議所・江別建設業協会・江別管工事業協同組合の4団体に所属している方を対象とし、接種者数約4,500人を予定しております。接種対象者は初回接種（2回）を完了した18歳以上の者で、最終接種から3ヶ月以上経過している者。医療従事者委託先は公益社団法人パブリックヘルスリサーチセンター附属健康増進センター北海道支部。

多くの方に接種していただき、少しでも感染拡大の減少に繋がる事を祈ります。

お詫びと訂正

7月27日発行の「広報ついしかり156号」5ページ「クリーンアップ清掃活動」に誤字、脱字がありました。

ここに訂正いたしますとともに、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

1. 5ページ　参加企業数について
   誤字 … 参加企業名（48企業） ⇒ **参加企業名（49企業）**

2. 5ページ　参加企業名について
   脱字 … **㈱カネモ　※会社名の記載が抜けていました。**

組合予定行事

【10月】
27日（木）／「ついしかり」第157号発行
31日（月）／赤い羽根大口募金

【11月】
2日（水）／広報編集委員会
15日（火）／献血ボランティア活動
〃　／健康体操ワンコインレッスン
16日（水）／定例三役会
24日（木）～27日（日）／視察研修旅行会
28日（月）／4回目職域接種開始

【12月】
1日（木）／安全衛生委員会
8日（木）／福利厚生広報委員会
〃　／4回目職域接種終了
13日（火）／共同受電事業委員会
〃　／健康体操ワンコインレッスン
14日（水）／定例三役会
15日（木）／総務委員会
22日（木）／販売購買委員会
28日（水）／事務局仕事納め

【1月】
5日（木）／事務局仕事始め
17日（火）／健康体操ワンコインレッスン
18日（水）／定例三役会
20日（金）／新年交礼会
24日（火）／理事会